

医療費の抑制にご協力ください!

◆ 国保はみんなで支えあう制度です

国民健康保険（以下「国保」）は、職場の健康保険や後期高齢者医療制度に加入されていない人などが対象です。加入者の皆さんに国民健康保険税（以下「国保税」）を納めていただきます。病気やけがをして、医療機関を受診したとき、医療費の一部を国保が負担し、皆さんの自己負担を軽くする制度です。

皆さんの安心を支える国保。そして、国保を支えているのは皆さんの国保税です。

◆ 国保財政の現状

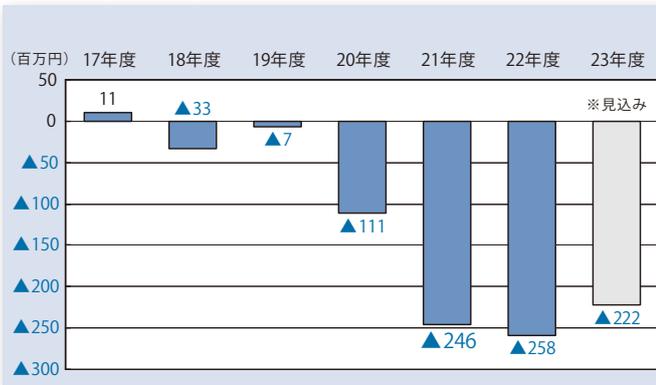
七尾市国保の財政状況は、平成18年度から“赤字運営”が続いています。

これは、年々増加する医療費と長引く経済情勢の悪化などから国保税収入が低く推移したことが原因です。

これまでは、赤字額を前年度からの繰越金と保有している基金の取り崩しによってまかなってききましたが、赤字額をまかなってきた基金も、急激に残高が減少してきました。

安定した運営を行うためにも、毎年度の赤字を解消することが急務となっています。

国民健康保険特別会計の決算の状況（単年度収支）



基金残高の推移



<歳入と歳出の主な内訳>

平成23年度 国民健康保険特別会計 決算見込み

※医療機関へ支払う保険給付は、全体の約7割を占め、財政を圧迫しています。

【歳出】 67億1千2百万円

その他	拠出金・納付金 17億9千6百万円 (26.8%)	医療費（保険給付費） 46億1千7百万円（68.8%）
-----	---------------------------------	--

【歳入】 64億9千万円

その他	国・県公費負担、交付金 49億1百万円 (73.0%)	国保税 12億9千4百万円 (19.3%)	歳入不足
-----	--------------------------------	-----------------------------	------

歳入－歳出＝ △2億2千2百万円

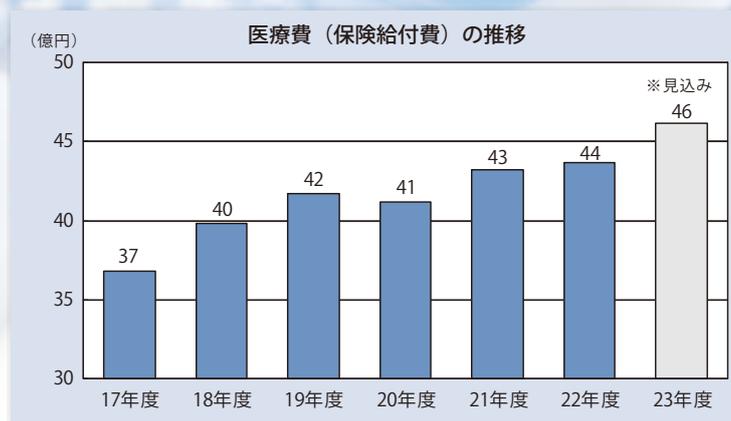
◆年々増加する“医療費”

赤字解消のために問題となるのが、支出（歳出）の約7割を占める医療費で、年々増加傾向にあります。

年齢階層別に受診率をみると、幅広い階層で消化器系疾患（胃炎、歯肉炎など）での受診が多く、0～39歳では呼吸器系疾患、45歳を超えたあたりから循環器系疾患（高血圧、心疾患など）、50歳あたりから内分泌系疾患（糖尿病など）などの生活習慣病によって、医療機関を受診する人が多くなっています。

また、男性では、60歳以上で新生物（がん）、45～59歳で腎尿路生殖器系疾患（腎不全など）、女性では45～49歳で循環器系疾患、45歳以上で筋骨格系疾患（骨粗しょう症など）が高い割合を占めています。

（平成23年5月診療分データから）



◆医療費の抑制にご協力を！

医療費は、自己負担と保険者負担（七尾市など）で、医療機関へ支払われます。

国保では、保険者負担額を国保税と公費負担などでまかなっているため、医療費の増加は皆さんに納めていただく国保税の値上げにつながります。

$$\text{医療費} = \text{自己負担} + \text{保険者負担}$$

日ごろから健康づくりに努め、特定健診や人間ドックなどを定期的を受けて、自分の健康状態を確認することで、生活習慣病などの早期発見や、重症化予防につなげていきましょう。

○医療費抑制のポイント！

- ① 健康づくりや生活習慣の改善に努めましょう。
- ② 定期的に健康診査を受けましょう。
- ③ 診療時間内の受診を心掛けましょう。
- ④ かかりつけ医を持ちましょう。
- ⑤ 薬のもらい過ぎに注意しましょう。

◆定期的に健康診査などを受けましょう。

※詳しくは、広報ななお5月号をご覧ください。

○人間ドック・脳ドックの助成事業

（注）今年度、特定健康診査を受診した人は、助成を受けることができません。

（検査項目が重複しているため）

○特定健康診査

七尾市国保では、“受診率65%”を目標としています。（平成23年度受診率 45%）

1万円相当の検査が自己負担額500円で受診できるお得な健診です。また、国が示す検査項目以外に、近年増加傾向にある糖尿病性腎症による人工透析導入を予防するための検査項目も追加しています。対象の人には「受診券」を送付しています。ぜひ、受診してください。

問 保険課 ☎53-8420